

分野①伝統行事・文化

酒津とんど祭り保存会 さぎちようぎようじ (左義長 行事…小正月に行われる火祭り行事のこと)

<概要>

住所 鳥取市気高町酒津

代表者 西尾 雅彦

構成員 20名(9班のトンドウ委員含む)

(参考)

酒津地区の概要 (平成22年国勢調査)

- ・人口 509人
- ・世帯数 158戸
- ・高齢化率 31%



<取組の概要>

- ・左義長行事である「酒津トンドウ」伝統行事の保存と継承。
- ・トンドウ行事は130年以上の歴史があり、現在は1月15日に近い土・日、祝日に2日間行われる。
- ・トンドウ行事の寒い中、上半身裸の男の子たちが寒さに負けず、元気いっぱい伝統行事を守り抜く。

<取材MEMO (1)>

○取組に至る経緯 (歴史)

- ・平成3年に鳥取県指定無形民俗文化財に指定。
- ・平成9年12月に、酒津地区子供会が、県の「ととりの誇り100選」として認定される。
- ・平成16年1月に、「左義長行事」の全国サミット(5県)を酒津地区で開催。
- ・平成19年3月7日に国指定重要無形民俗文化財に指定。
- ・昭和30年代頃までは、東条、大中条、小中条、西条、樽谷の5地区でそれぞれトンドウを作っていたが、昭和30年代中頃から酒津全体で1個のトンドウを作っている。



注連縄(しめなわ)作り作業



最後のトンドウの仕上げは大人の仕事



午前5時区長が火を入れ、1年の無病息災と豊漁を祈る

分野①伝統行事・文化

酒津とんど祭り保存会

<取材MEMO (2)>

○取組に工夫・苦労した点

- ・酒津トンドウは江戸時代から継承されている純粋な伝統行事である。どのようにして伝統に沿って継承していくかは、いつでも大きな課題。他県の場合、観光を目的にしている地域があるが、それとは区別をしたい。しかし、年々見物客が増えている現状もあるので、豚汁の無料サービスや塩サバの販売など、おもてなしについても、今後も積極的に対応していきたい。
- ・積雪がある中、寒風について走る子どもたちは素足で駆け抜けていくが、低学年児童が積雪の中を走るにはかなり厳しい。
- ・少子化はどんどん進行し大きな課題となっている。このため、「畝いたまえ、清めたまえ」とロ々に唱え清めて廻る「垢離(こり)をとる」行事が少しずつ難しくなっている。現在では、小学校1年から6年までの小学校の男子児童に加えて、中学1年～2年の男子を加えて応援に入ってもらっている。地域の皆さんと一緒に、このような課題を少しずつ解決したい。
- ・また、「ミノグミ」と言って、トンドウを編む作業する事が厳しくなっている。子どもたちやお年寄りも含めて、よく話し合っって効率よく作業できるようにしたい。



寒風について子どもたちが素足で走る

<代表者から一言>

- ・地域の誇りでもある純粋な伝統行事として、いつまでも継承していきたい。



西尾 雅彦 代表

<取材MEMO (3)>

○今後の取組内容・長期的な目標

- ・伝統行事として、いつまでも同じ方法で継承していくことは難しい。現状にそぐわない状況が生まれれば、それをよく把握し、多少のアレンジをしながら、地元との合意形成をはかり取り組んでいきたい。



モグ(海草)を拾って身を清める

取材を行っての感想など一言コメント

- ・酒津トンドウの火柱は、遠く隠岐の島からも見えたといえます。書初めの紙を燃やして高く舞い上がれば字が上手になり、この火で供え餅を焼いて食べると一年中無病息災がかない、豊漁も期待できるといわれます。大人はトンドウを立てる時だけ、作業を手伝っています。

市町村役場の連絡先

〒689-0217 鳥取市気高町酒津 359-1 酒津地区公民館

電話：0857-82-2990 ファクシミリ：0857-82-3030